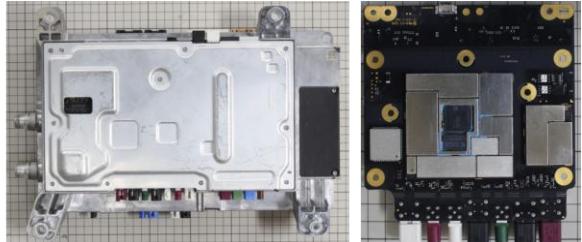


ADAS ECU : 小米汽車 YU7搭載ユニットティアダウンレポート



<https://evcafe.jp/article-20241213-xiaomi-yu7/>

小米YU7



ADAS ECU & 通信モジュール

レポート概要

小米汽車（Xiaomi Auto）が2025年6月に発表した電動SUV「Xiaomi YU7」は、中型／大型クロスオーバーEVの新星として発売開始からわずか3分で20万台を受注し、中国の自動車市場に大きな注目を集めています。本車両は、最高出力690馬力、835kmの航続距離など高度な走行性能が注目されていますが、運転支援機能も現行車両としては最上位レベルの水準に達しています。搭載されるADAS ECUは、昨年のSU7の搭載されたユニットとは異なり、ADAS用ECU・通信モジュール・ドメインコントローラを一体化したモジュール構成を採用しており、重量および消費電力を大幅に削減しているとの情報があります。※製造メーカーは徳賽西威汽車電子"Desay SV Automotive"と推測。

今回のレポートは、ユニットの体格、分解、搭載主要部品、前世代のSU7との比較を含めたティアダウンレポートとなります。

製品特徴

・搭載機能

前方衝突警告、自動緊急ブレーキ、車線維持支援、車線中央維持、全速度域クルーズコントロール、車線変更支援、駐車支援・360°カメラ・自動駐車機能等、低速域・駐車時向けの支援機能など。

・搭載センサー

LiDAR (1台)、カメラ (11台)、4Dミリ波レーダー (1台)、超音波センサ (12台)

レポート内容&価格

ティアダウンレポート（分解工程+主要部品調査）：1,300,000円（税抜き）

- ・本体サイズ、重量
- ・水路X線（予定）
- ・分解工程
- ・搭載部品調査（主要部品+搭載部品数）
- ・小米SU7搭載ユニットとの比較

※レポート購入の方、ご要望ありましたらユニットの貸し出しありも可能です。

